

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。  
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。  
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は、変更可能です。  
 ※いずれの場合も、必ず A3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

【様式1】

<エントリーシート>	部門 校内研修部門	学校名・氏名 京都市立葵小学校
※事務局記入欄		
No. : C - 12	活動名 働き方改革は生き方改革 業務効率を高め教育の質を上げ隊！	

**課題の設定：** ※活動を行う前に、課題や目標をどのように設定しましたか？視点などを含めて記載してください。

大量退職・大量採用時代を迎え、学校組織の若年化や新学習指導要領への対応が急がれる中、本校でも、組織力の向上とそれに伴う人材育成という極めて大きな課題に直面している。そこで、今年度は京都教育大学連合教職実践研究科、京都市総合教育センターと共同研究し、従来の研修や学年会を**学校教育目標を具現化する自律的・協働的なチームとなり得る研修や学年会**に変革をする。その上で、**カリキュラムマネジメントと働き方改革を連動させた校内組織**により、**アクティブ・ラーナー**としての教職員を育成することでこの課題に対応したいと考えている。

**方針・計画：** ※課題を解決するために仮説を立てて、活動内容を組み立てたのか、記載してください。

上述の課題を解決するために、以下3点の取組を計画することで、全員が当事者となり得るカリキュラムマネジメントと働き方改革を連動させた学校組織づくりが実現できると考えた。

- ①教職員による学校教育目標と子どもに付けたい資質能力の設定。
- ②学校教育目標を具現化するための学年会組織。
- ③自律的・協働的な教職員集団になるための校内研修改革。

**活動内容：** ※方針・計画に基づいてどのような活動を行ったか、また、複数の活動を展開した場合はその位置づけや関連性を記載してください

- ①学校教育目標と児童に付けたい資質・能力を教職員が設定し、ビジョンの共有を図る。(写真1)
- ②学年会において、関連単元配列表・年案・月案・週案・日案を活用することでカリキュラムマネジメントを推進するとともに、学年会のあり方及びやり方を設定し、当該学年の児童の良さや課題を解決するチームとしての機能を発揮する。(図1, 写真2)
- ③外部講師を招聘し、働き方改革に特化した校内研修を3回実施する中で立ち上げたプロジェクト(『業務効率を高め教育の質を上げ隊!』)ごとに取り組みを進める。(写真3, 図2)

**活動の成果：** ※課題や目標に対し、どんな影響、変化あったか、職員や参加者の声など客観的な情報・データとともに記入して下さい。

- ①ライフとワークを深く見つめる研修を実施したことで、スクラップ&ビルドを行うための判断の軸が明確になった。
- ②学年会と校内研修を連動させたことで、個人の実践を対話的に振り返り概念化し、ありがたい姿を学年や組織で描き続ける対話型マネジメントが実現し、学年会を学校教育目標を具現化するチームにすることができた。(図3)
- ③児童に付けたい資質・能力『人間関係力』を高めるため、『業務効率を高め教育の質を上げ隊!』を立ち上げ、自律的・協働的なチームとして取り組むことで、児童の関係性の質と自己肯定感が向上した。(図4)

**アピールポイント(アイデアや工夫)：** ※3~5つ程度の箇条書きしてください

- ・外部講師を活用した生き方の質を変えていくための働き方改革…個々の教職員が生き方の質を豊かにし、幸せな人生を生きるための働き方改革。
- ・『業務効率を高め教育の質を上げ隊!』…ビジョン(学校教育目標)起点のプロジェクト。
- ・対話型マネジメント(実践→振り返り→概念化)…アクティブラーナーとしての教職員の育成。

<写真、図表添付欄>

(写真1)



(写真2, 図1)

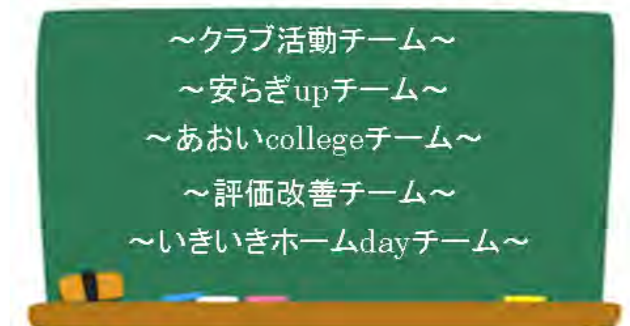


(写真3)



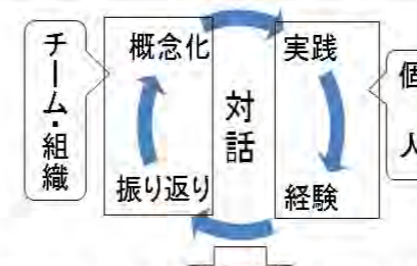
(図2)

業務効率を高め、  
教育の質を上げ隊(たい)!



(図3)

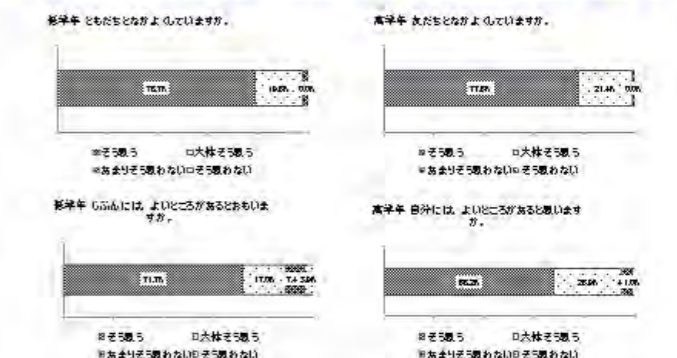
実態を踏まえた 関係性・自律性を高める 対話型マネジメント



新たな未来の実現【どんな学校を創り出したいのか】

(図4)

平成30年度 前期学校評価結果より



友だちと仲良くしている→全ての児童が肯定的な自己評価をしている。  
自分には良いところがある→10月9割以上の児童が自分を肯定的に受け止めている。